

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	新潟県における喘息発作増加とエンテロウイルス D68 感染症の流行
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2018 年 9 月 1 日以降に新潟大学医歯学総合病院もしくは関連病院に気管支喘息発作、あるいは喘息性気管支炎で入院された 15 歳以下の患者さんのうち、入院時に鼻咽頭ぬぐい液を採取した患者さんが対象です。
③概要	エンテロウイルス D68 は近年、国内外で周期的に流行するウイルス感染症で、喘息や弛緩性麻痺を引き起こしうる大きな問題となっているウイルスです。国内ではまだサーベイランスの対象となっておらず、特に新潟県内の流行の有無は把握できておりません。 2018 年秋および 2024 年秋に県内小児患者において喘息症例が急増しており、それとエンテロウイルス D68 との関連性や臨床像の把握を把握するためにこの度本研究を計画いたしました。
④申請番号	2018-0428
⑤研究の目的・意義	エンテロウイルス D68 感染症は未だに対策がわかっておりません。感染対策や治療法など早期の対策を立てるため、新潟県内の呼吸器検体からエンテロウイルス D68 が検出された小児患者の症状や治療経過を把握する必要があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認後～2025 年 12 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテ内の病歴、身体所見、血液検査結果を利用する。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはございません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（性別、年齢、診療記録）、身体所見、血液検査結果、治療内容、予後
⑨利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院 既存試料・情報の提供のみを行う機関：新潟県立新発田病院、新潟市民病院、木戸病院、済生会新潟病院、国立病院機構西新潟中央病院、下越病院、済生会県央基幹病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、立川総合病院、魚沼基幹病院、県立十日町病院、柏崎総合医療センター、国立病院機構新潟病院、上越総合病院、県立中央病院、魚沼基幹病院、佐渡総合病院の各小児科
⑩試料・情報の管理について	新潟大学小児科教授 齋藤昭彦

責任を有する者	
④お問い合わせ先	新潟大学小児科齋藤昭彦 Tel : 025-227-2222 E-mail : shounika@med.niigata-u.ac.jp